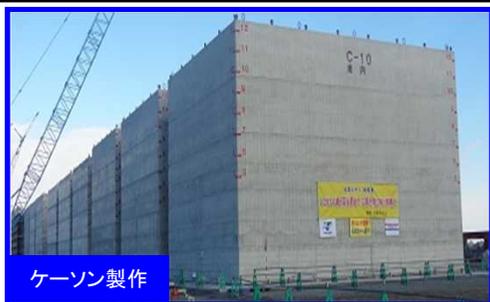
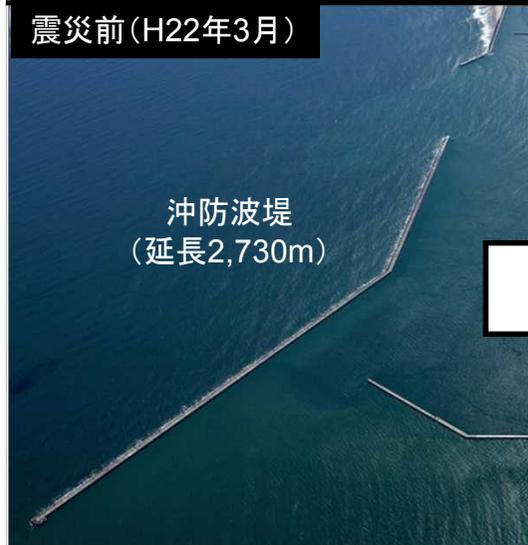


# 相馬港の復旧状況

- 沖防波堤は、全延長の約9割のケーソンがマウンドから転倒・滑落するなど甚大な被害が発生。現在、津波を受けても倒壊しない「粘り強い構造」により復旧工事を進めており進捗率は8割程度の状況。平成27年度末までに港内静穏度を確保するためのケーソン据付工事を完了、また、平成29年度末までに全ての復旧工事完了を目指す。
- 既存の12の公共岸壁や荷役機械についても甚大な被害が発生。平成27年1月末までに被災した全ての公共岸壁について復旧工事を完了。



# 復興に向けた取り組み～航路・船地（-14m）～

- 平成26年11月、石油資源開発(株)が東日本のLNG供給能力増強等を目的として、LNG受入基地の建設に着手。
- 国は、LNGの安定的かつ安価な輸入のため、水深14mの航路・泊地の整備に取り組んでいる。



# (参考) 相馬港の現況

